

4月19日（月） 知事会見

- 1 諏訪圏域における対策強化（時短等要請）
- 2 感染対策強化期間

1 諏訪圏域における対策強化 (時短等要請)

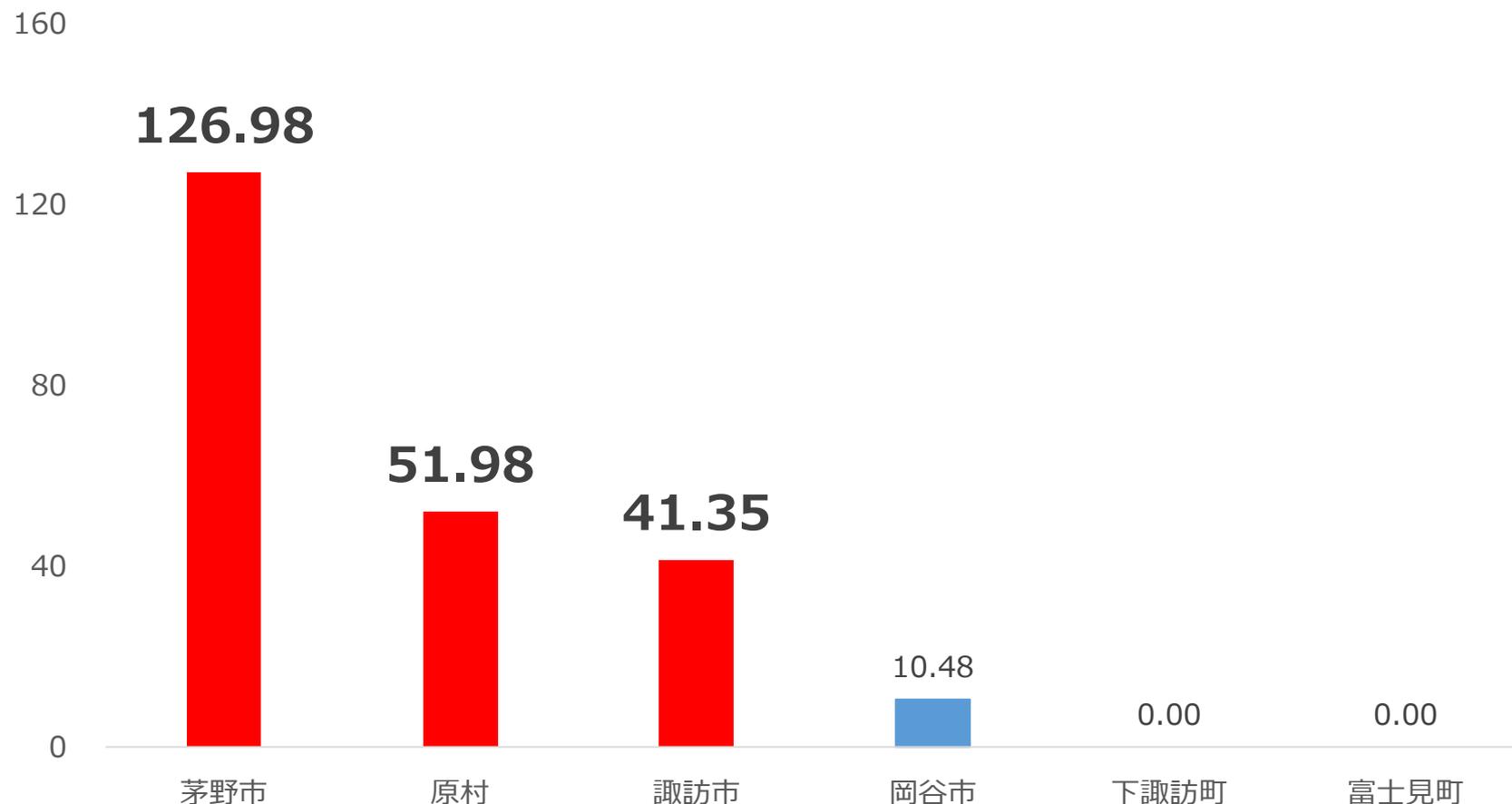
2 感染対策強化期間

人口10万人あたりの直近1週間の陽性者数

(人)

【 4/12 ~ 4/18 】

* 発生届受理日を基準に算出



酒類の提供を行う飲食店等に対し、施設の使用制限・ 停止（休業・営業時間短縮）について協力を要請

【要請期間】

4/21（水）～4/29（木）

感染状況により延長する場合あり

【対象エリア】

諏訪市・茅野市・原村

（特措法第24条第9項に基づく措置）

○ 営業時間の短縮等を行った事業者に協力金を支給

【諏訪市、茅野市、原村】

規模別方式で協力金を支給（2.5～7.5万円／日）

今回は、経過措置として、**下限を4万円／日**とする

* 中小企業の場合

○ 市町村と連携してガイドライン遵守等の働きかけ活動を強化

【諏訪圏域全域】

○ 市町村と連携し感染拡大の影響を受ける事業者を支援

【諏訪圏域全域】

○ 飲食店の従業員を対象としたPCR検査の実施

【諏訪市、茅野市、原村】

1 諏訪圏域における対策強化
(時短等要請)

2 感染対策強化期間

第4波が収まらず、感染が拡大したまま ゴールデンウィーク（GW）を迎える可能性



県内の人口10万人あたりの新規陽性者数の推移

(※R2.12.31までは確定日、R3.1.1以降は発生届受理日を基準に算出)

医療提供体制のひっ迫

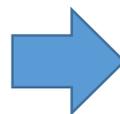
医療警報発出中 (4/8~)

➤ 実質病床利用率の上昇

27.4%

(4/8)

* 医療警報発出日時点



36.2 %

(4/18)

➤ 昨年から相次ぐ感染の波の襲来により医療現場が疲弊

変異株の確認

- 従来株より感染しやすく、また、重症化しやすい可能性や、10代以下の若い世代の感染割合が高いことが指摘されている
- 変異株が県内で複数確認

大型連休中の人の動きの活発化に伴う
感染の急拡大に最大限の警戒が必要

4/19（月）～5/9（日）を

「感染対策強化期間」 とします

- ① 県外への訪問や帰省等の往来はできるだけ控えてください。
- ② 人との接触機会を減らしてください。
- ③ 基本的な感染防止策を適切に行っていたら、感染を広げないようにしてください。
- ④ 多数の方が集まるイベント等を予定している場合には、感染防止対策を徹底し、それが困難な場合は、延期・中止を含めて検討してください。

ゴールデンウィークを迎えるにあたり注意すべき場面

※県内の感染事例を参考にまとめたものです



大人数での会食・会合

クラスター（集団感染）が発生し、さらにそこから家族や関係者へと感染が急拡大してしまう。



- 普段会うことのない知人・友人や遠方の親戚などと会うと、会話が盛り上がり、長時間になる
- マスクを外している時間が増える
- つついとお酌やテーブル間の移動をし多数の人と接触してしまう

帰省

家族間では対策の徹底が難しく濃厚接触となってしまうほか、地元友人等への感染も起こりやすい。



- 帰省前の体調や行動歴に注意せず、微熱程度であれば、つい帰省してしまう
- 自費で検査をし、陰性であった場合でも感染した事例がある
- 実家の中ではマスクを外しがちとなる
- 家族や友人とはマスクを外して会食したりドライブしたりする場面が増える

- **医療提供体制の一層の強化**
- **事業所における感染対策の徹底**
- **市町村と連携したワクチン接種体制の整備**

など

信州の宿県民応援前売クーポン（仮称）の発行

○感染拡大期において前売クーポンの発行により、
将来需要の確保と事業継続を支援

○県民はお気に入りの宿を応援 注）前売クーポンは感染状況によっては利用停止となる

【イメージ】

